

(別紙2-1)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月29日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4270500640		
法人名	有限会社 めぐみ		
事業所名	グループホームめぐみ荘		
所在地	長崎県大村市西部町495-7 (電話) 0957-48-5233		
評価機関名	特定非営利活動法人 医療・福祉ネットワークせいわ		
所在地	佐賀県佐賀市木原二丁目6番5号		
訪問調査日	2007年12月4日	評価確定日	2008年2月19日

【情報提供票より】 (2007年 4月 1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年	2月	1日
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	2人, 非常勤 10人, 常勤換算 11.5人

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨	造り
	2階建ての	1～2階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	850 円	

### (4) 利用者の概要(4月1日現在)

利用者人数	18名	男性	8名	女性	10名
要介護1	5名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	2名		
要介護5	1名	要支援2	1名		
年齢	平均 87.6歳	最低	75歳	最高	97歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	中澤病院 吉原歯科医院
---------	-------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、大村湾が一望できる小高い場所に位置し、2階建ての中に2つのユニットが設けられています。ホーム内は、日当たりが良く窓から見れる大村湾の景色は季節に応じ様々な表情を楽しませてくれることが想像できます。2階のお風呂は大きめのものが設置されており、仲の良いご利用者が共に入浴を楽しまれているとのことです。現在、ご利用者、ご家族、スタッフが共に達成感を得られるように介護計画書の書式の見直しに取り組みされており、個別のご利用者対応を大切にされていることがうかがえ、今後の運用にも期待がもてます。主要メンバーの入れ替わりが生じており、これからの取り組みに期待したいホームです。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) <b>改善に向けて取り組まれています、計画的とは言えません。</b> 評価結果に基づく改善課題に対して幾つかの活動が見受けられますが、改善計画は確認できません。今後は、評価結果に基づく改善課題を明確にされたうえでの優先順位やスケジュールを定めた活動を期待します。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) <b>評価の意義のスタッフへの浸透が求められます。</b> 今回の自己評価は、特定のスタッフにより実施されています。今後は、自己評価に全スタッフで取り組み、課題抽出時から全スタッフがかかわることによる課題の真の共有化に努めてください。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) <b>制度に応じた開催が求められます。</b> 運営推進会議は、開催されており、積極的な意見交換が行われていることが議事録でも確認できますが、参加メンバーが不十分です。市町村担当者の参加など、制度に応じた運営が求められます。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) <b>意見の聴取に努められています、更なる積極性が求められます。</b> 行事関係の話し合いなど、ご家族の意見を運営に反映させるための取り組みが見受けられますが、十分な状況とは言えないようです。ご意見や苦情等は、質の向上のヒントと捉え、積極的な聴取が必要です。ご家族からご意見を多く頂けるような仕組みづくりを期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) <b>積極的な活動が見受けられ、今後の取り組みに期待できます。</b> 地域の老人会やスポーツ大会、消防団とのかかわりなど、様々なかかわりが見受けられます。また、今以上に行事情報などをキャッチできる地域との関係作りを目指されており、もっと積極的に地域と協働していこうとされる姿勢がうかがえます。

(別紙2-2)

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念の共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	設立当初に作成されたホーム独自の理念を掲げ、実践に向けた取り組みが展開されています。	○	地域密着型サービスの役割について再考し、理念に反映させることが求められます。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は掲示され、2ヵ月に1回のミーティング時に事例と理念を結びつける場面をもたれていることが会議議事録で確認できます。その他、必要に応じて理念に対する反省をする場をもたれているとのことです。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	老人会・スポーツ大会・消防団など地域の活動に参加はされていますが、事業所として地域と協働するところまでは至っていないとのことです。	○	地域の回覧や情報が今以上に事業所に届くよう、自治会に加入するなど地域に積極的にはたらきかけていきたいとのことですので、今後の取り組みに期待いたします。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価結果を活かし、介護計画書の様式の変更などの改善活動が見受けられますが、主要スタッフの入れ替わりもあり計画的な改善には至っていません。自己評価についても一部のスタッフで実施されている状況です。	○	改善については、課題を明確にした上で優先順位を定めて取り組むなど、計画的な取り組みが必要です。また、自己評価を事業所全体で取り組まれることによる課題等の真の共有化が求められます。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、概ね2カ月に1回の開催実績が議事録で確認できます。しかし、そのメンバー構成は十分な状況ではありません。	○	運営推進会議には、市町村の担当者の参加が求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村とのかかわりは、連絡協議会や書類の提出時のほか、ご利用者対応についての個別相談などの事例が聴取できました。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ご利用者の状況報告は面会時に、状況の変化は随時電話にて、それぞれ報告・相談が行われているとのこと。金銭管理についても報告はされていますが、その同意状況についての記録は確認できません。	○	ご利用者の状況報告については、口頭のみならず、文書での報告もご検討下さい。また、金銭管理は、説明同意の痕跡が残るようご家族等の署名などを台帳等に頂くことが望まれます。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事などについてご家族と話し合いを行った例は聴取できましたが、その他については確認できません。	○	ご家族の意見を聴取する仕組みの検討が必要です。ご家族から聴取した意見により改善を図った事例の公表など、積極的な取り組みが求められます。また、苦情を改善につなげるための記録様式を整備されることも推奨します。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	新任のスタッフの紹介は、「グループホームめぐみ荘より・・・」（機関紙）を活用し行われていますが、離職の際のご家族への連絡などの仕組みは確立されていません。	○	スタッフの定着率の向上に努め、ご利用者が馴染みの関係の中で生活できるよう配慮した今後の取り組みに期待します。また、スタッフの交代は、ご家族にも重要な事項です。離職時などスタッフ交代時には、ご家族へ確実に情報が伝わる仕組みづくりが求められます。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修については、その情報がホーム内で案内されておりスタッフの自主的な受講が促されています。また、受講した外部研修の内容はミーティングで共有されているとのことです。その他、内部では事例に基づく研修が行われているとのことです。しかし、研修計画については確認できません。	○	今後は、スタッフ育成の面から、スタッフ一人ひとりの研修履歴等を把握した上での教育計画作成についてご検討下さい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	平成19年12月に他の事業所との相互訪問を企画されているとのことです。	○	企画されているホーム相互訪問などの実現に向けた積極的な取り組みを期待します。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居については、緊急性の高い場合が多いとのことです。それ以外の場合は、入居前の訪問や見学が行われているとのことです。また、入居直後は家族との連絡を密にし、馴染まれるまで面会を頻繁にさせていただく場合もあるとのことです。	○	馴染みながらのサービス利用への取り組みは見受けられますが、見学等入居前の記録が残っていないのは残念です。見学の受入時など入居前の情報の記録は、入居後の支援に対する有効な情報と捉え、活用できるよう整備されることが必要です。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	料理などの具体的事例から家族の大切さなどの精神的なことまで、ご利用者から学ぶことは多々あるとのことです。また、ご利用者からの感謝の言葉やご利用者の笑顔が、スタッフの労いにつながっているとのことです。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご利用者の意向やスタッフの気付きはカルテに記録され、スタッフ間で共有される仕組みとなっています。	○	ご利用者の意向やスタッフの気付きなどについては、以後のご利用者の支援に結び付けられるよう記録を工夫されることを推奨します。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	現在、ご利用者、ご家族、スタッフが共に達成感を得られるよう介護計画書の書式の見直しが行われたところです。	○	介護計画書の書式の変更が改善につながるかどうかは、今後の運用次第となります。改善課題が解決できるような運用を期待します。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月ごとに、モニタリングが行われ、介護計画について評価、見直しが行われる仕組みとなっていますが、モニタリングが徹底されていない状況です。些細な随時の見直しについては、追記・削除により対応されているとのことです。	○	上述の介護計画書の書式変更と併せて、介護計画の見直しに関する有効的な仕組みの構築が求められます。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者やご家族の状況に応じて、通院介助やふるさと訪問、ゲートボールやみかん狩りなど柔軟な支援が行われています。また、ご利用者の馴染みの老人会への参加などについても支援されているとのことです。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医はご利用者等の希望により選定され、検査結果やサマリーなどは個人記録ファイルに保管されています。しかし、ご利用者の健康状態のご家族との共有は、状態変化時のみになっているとのことです。	○	ご利用者の健康状態のご家族との共有は、状態変化時に留まらず、平常時から検査結果をお知らせするなど、今以上の共有化が求められます。
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期についての方針などは、主要スタッフの入れ替わりにより明確なものが確認できない状況でした。また、ご利用者及びご家族等の希望についての記録も確認できませんでした。	○	入居の際など早い段階でご利用者やご家族の意向を確認し記録に残す必要があります。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや対応などご利用者のプライドに対する配慮は見受けられます。しかし、個人情報保護法への対応は十分な状況とは言えません。	○	個人情報保護についての規程の整備など、早期対応が求められます。また、個人情報保護法についてスタッフ全員の理解を深めるための取り組みを推奨します。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはありますが、集団的対応にならないよう一人ひとりのご利用者のペースに応じた対応を心掛けられています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好について、聞き取りや残食量により判断され、トロミなどの食事形態にも配慮されています。菜園のなすび等もメニューに取り入れられています。しかし、調理場所が片方のユニットに限られており、一部のスタッフは持参した弁当を食べられています。	○	調理場所については、食事の準備段階の匂いや音の影響、ご利用者との協働の場面作りなどを念頭におき、見直されることを推奨します。また、ご利用者とスタッフが協働して準備した同じ食事を、一緒に食べることの重要性についてもご検討下さい。
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、比較的に希望に応じた柔軟な対応が可能とのことです。2階のお風呂は広くて展望の良い造りになっており、仲の良いご利用者が一緒に楽しまれているとのことです。しかし、ご利用者毎の具体的な入浴支援方法の記載については確認できません。	○	入浴支援に関する注意事項などを手順書にまとめ新しいスタッフにも周知できるようにご検討下さい。
<b>(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者の生活歴や生活習慣、職業歴などをアセスメントシートに取りまとめ、その情報を活かした支援が展開されています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ご利用者の状態や季節的な配慮のもと、食材の買い物などに、ご利用者と共に出かけられています。車椅子による外出もありますが、ホーム周りが舗装されていない点が問題とスタッフは話されていました。	○	ご利用者の気分転換やストレス発散、活動意欲の高揚などにつながるよう、日常的な外出支援についての更なる工夫を期待します。
<b>(4)安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠されることなく、ご利用者の外出は、癖や傾向を把握し見守りにより対応されています。地域にもご利用者発見時の協力依頼が行われています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の火災訓練を実施されています。地域の消防団との連携も図られています。しかし、食料品の備蓄や災害時の必要品などの準備はまだ十分とは言えない状況です。	○	食料品の備蓄や必要品の準備など様々な災害を想定した対策が必要です。
<b>(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量については個別に把握されています。食事の量や形態についての個別対応も見受けられます。ご利用者の嗜好についてもアセスメントシートに記録され活かされています。しかし、献立の専門家によるチェックは行われていません。	○	献立については、栄養士などの専門家のチェックを定期的に受けることが求められます。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用スペースは大きめの窓により開放的に感じられます。また、写真や花などが飾られており季節感にも配慮されています。しかし、2階のユニットについては、その間取りから家庭的な雰囲気が薄く感じられます。	○	建物の間取り的な問題もあるのですが、もう一度、2階のユニットの共有スペースのあり方について、スタッフ間でアイデアを出し合ってみられたら如何でしょうか。
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込み品には、特に制限を設けられておらず、ご家族と相談され馴染みのものを持ってきて頂くよう働きかけも行われているとのこと。居室にはテレビやオルガンなどが持ち込まれており、写真や花なども飾られています。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票を添付すること。